

Smile & Heart

「笑顔」と「まごころ」
あふれる病院

2020 winter

冬号

ご自由にお持ち帰りください

特集

診療の範囲が広い 耳鼻いんこう科

感染症、がん、めまい、難聴など
耳・鼻・喉の多種多様な
診療にクローズアップ。



特集

薬から手術、リハビリまで 多岐にわたる治療

耳、鼻、喉、顔面、頸部と診療範囲が広い耳鼻いんこう科。

外科手術も内視鏡手術、顕微鏡手術、気管切開術と様々です。

当科では、他の診療科(歯科口腔外科、呼吸器内科 等)とも連携して

幅広い領域の診療を行っています。

鼻

副鼻腔炎の高度な手術

副鼻腔炎(蓄膿症)は身近な病気ですが、内服薬による治療で改善しない場合、内視鏡下副鼻腔手術を行います。副鼻腔は脳や目と薄い骨でつながっているためリスクを伴います。2015年、内部を鮮明に映し出すハイビジョンカメラとナビゲーションシステムを導入し、数mm単位の高度で安全な手術が可能になりました。部位によっては歯科口腔外科と共同で治療できるのも当院の強みです。

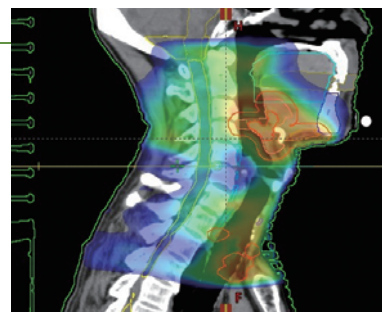


ハイビジョンカメラとナビゲーションシステムで高度な手術が可能に

頭頸部

がんには集学的治療

高齢化に伴い、がんにかかる患者さまが増えています。耳鼻いんこう科では、咽頭、喉頭、鼻腔、唾液腺、口腔といった場所に生じたがんの診療を行います。病状に応じて手術、放射線治療、化学療法を適切に選択、あるいは組み合わせて治療を行います。当院には精度の高い放射線治療を実現する「トゥルービーム」(保険適応)を完備するほか、2019年8月には愛知県がんセンター病院でがん診療の十分な経験を積んだ小出悠介医師も加わり、診療体制を強化しました。



腫瘍に照射する高精度放射線治療装置「トゥルービーム」を完備

耳鼻いんこう科 科部長
古田 敏章

耳鼻いんこう科の幅広い領域と対象となる病気

鼻

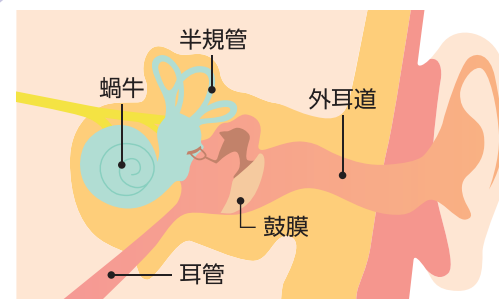
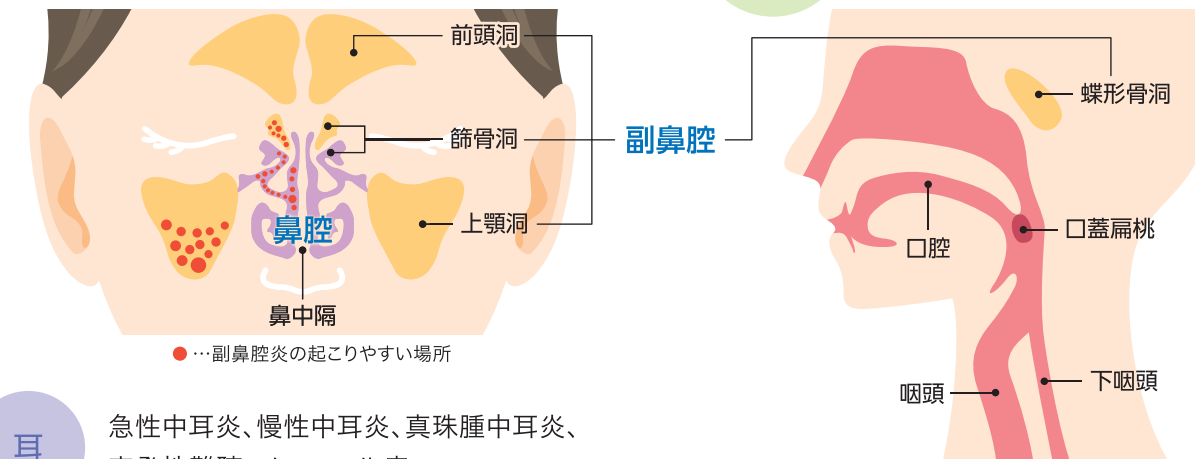
アレルギー性鼻炎(花粉症)、副鼻腔炎、副鼻腔腫瘍、鼻骨骨折、嗅覚障害

耳

急性中耳炎、慢性中耳炎、真珠腫中耳炎、突発性難聴、メニエール病

頭頸部・咽喉頭

急性扁桃炎、扁桃周囲膿瘍、アデノイド増殖症、声帯ポリープ、鼻副鼻腔腫瘍、唾液腺腫瘍、咽喉頭腫瘍



【その他の疾患・病気】
顔面神経麻痺、めまい、補聴器外来、花粉症に対する舌下免疫療法など



10年以上の経験を持つ専門医が4人在籍し、病気や症状に応じて最適な治療を提供

咽喉頭

「食べる」を支える嚥下チーム

食べ物をうまく飲み込めない「嚥下障害」は高齢者によくみられます。放っておくと誤嚥性肺炎のリスクを伴うため、当科が中心となって歯科口腔外科、総合内科、呼吸器内科、リハビリテーション科(言語聴覚士)、看護師と共に嚥下チームを立ち上げました。内視鏡による嚥下検査を年間400件実施しています。2018年度は約2,000人に摂食機能療法を行い、着実に効果を上げています。



病棟回診時に行う嚥下内視鏡検査

耳

乳児の難聴は 早期に診療開始

人間の聴力が成長するのは生後3カ月までと非常に短く、もし異常があれば、3カ月までに対応しなければなりません。当科では乳幼児に対して耳音響放射線検査などで正確に診断します。



耳鼻いんこう科を支えるスタッフ

耳鼻いんこう科の病棟では、難聴や気管切開など、「聞く」「話す」「飲み込む」などに障害を持つ患者さまが少なくありません。それぞれに応じた丁寧な対応ができるよう、看護スキルやコミュニケーションスキルを磨いていきたいと思います。

西7病棟 看護師 谷口 千佳

内視鏡による嚥下検査では、喉の形状や動き、唾液量や痰の有無などを確認し、患者さまが安全に「食べる」ことができるよう評価を行います。検査中は姿勢のサポートや声掛けを行い、患者さまの負担を少しでも減らせるよう心掛けています。

リハビリテーション科 言語聴覚士 水野 理子

「看護師になってよかった」 新人たちにそう思ってもらいたい

入職してから足掛け10年間、小児科を担当しました。異動が決まったときは「ずっと小児科で働きたい」と思いましたが、異動先でも学びがたくさん。同じ病院でも世界はいろいろだと知りました。以来、視野を広げてくれる異動は私にとってウェルカムです！

昨年から新人育成専任看護師となり、新人たちと接するなかで、かつての私のように「異動したくない」と戸惑う人がいれば「また世界が広がるよ。異動おめでとう！」と元気に送り出すようにしています。

看護師の道を選ぶ人の多くは、患者さまの力になりたい、役に立ちたいという気持ちが強くあります。でも看護師には患者さまのケア以外にも多くの仕事がありますから、患者さまだけを見てられない現実に悩んでしまう人も。またプリセプターといって新人を教える



看護室 新人育成専任看護師・看護主任 中根 里美

トヨタ看護専門学校を卒業後、1999年入職。二度の育児休暇を経て、小児科・内科・外科・脳卒中センターなどで経験を積む。2012年看護主任、2018年新人育成専任看護師となる。

立場になると「先輩としてまだ教える自信がない」と不安を抱える人もいます。こうした戸惑いや不安を受け止めながら、自信を持って仕事ができるよう、心の支えになることが私の役目だと思っています。看護師になるまで、みんな厳しい実習や試験など大変な思いをして来ているわけですから「看護師になってよかった」と誇りを持ってほしいですし、たとえ様々な事情で当院を辞めることになっても、ずっと看護師を続けてほしい。そんなふうに思いながら毎日、新人たちと接しています。

私のモットーは「嘘の笑顔はしない」。それは相手に伝わってしまうから。心から笑顔になれる自分でいたいですね。

職場のスタッフから一言

いつも気を配って声掛けしてくださるので嬉しかったです。顔を見ると安心します。患者さまやスタッフへの対応を見習いたいと思います！

経営スタッフからこんにちは

ReBORNに向け着実に成長を続けます

新年あけましておめでとうございます。いよいよ今年、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。昨年のラグビーワールドカップに続き、スポーツから生まれる感動が楽しみです。

さて当院は、2004年の救命救急センター開設から早16年が経ち、現在年間8,000台を超える救急車を受け入れています。さらに昨夏より開始したドクターカーの運用も軌道に乗り、救急隊とより密接な連携ができるようになりました。

副院長 石木 良治

約2年半後に完成する新病院では、救急外来および集中治療室、手術室などの設備が充実し、規模も拡大します。また一般外来も、さらに受診しやすいものに生まれ変わります。病院ReBORNに向けた工事が本格化する本年、利用される皆さまに納得のいく治療を受けていただけるよう、トヨタ記念病院は着実に成長を続けてまいります。本年もご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



Team ー職場紹介ー

栄養科

おいしく
食べていただける
入院食を！



8人の管理栄養士が所属。様々な診療科にかかっている患者さまの食事や栄養をサポートしています。

【院内講演会のご案内】

糖尿病教室やリンパ浮腫講習会、がんサロンなどの院内講演会で、食事や栄養のお話をしています。お気軽にご参加ください！



栄養指導



入院患者さまや外来患者さまに、食事や栄養管理についてお話しします。

給食管理



メニューを随時見直し、最新の治療指針や患者さまのニーズに合った入院食を提供します。

チームカンファレンス



入院時にすべての患者さまの栄養状態をチェック。多職種が関わって適切な栄養管理を実施していきます。

食事の楽しみを感じていただけるような栄養管理を目指しています！

栄養科の仕事は大きく2つあります。1つは給食管理。治療の支えになる入院食は、「おいしく食べていただくこと」が大前提です。調理や配膳を委託しているトヨタ生活協同組合と連携し、メニューの見直しを継続的に行っています。カロリーや塩分、たんぱく質といった栄養素に配慮するとともに、飲み込む力が弱くても安全に食べられるよう、柔らかくしたり細かく刻んだ食事を開発しています。

もう1つは栄養管理です。入院時にはすべての患者さまの栄養状態を確認。必要に応じて、医師、看護師、薬剤師、栄養士、食事のリハビリを行う言語聴覚士などから成

る栄養サポートチーム(NST)が適切な栄養管理を検討します。また、生活習慣病や、高齢者に多い低栄養の方には、治療の一環として栄養指導を実施します。胃の手術後やがんの治療中は、1回に食べられる量や味覚が変化することもある。そうした病状を確認した上で、患者さまの味の好みや生活環境、ご要望を丁寧にうかがいます。食事は単なる栄養補給だけでなく、日々の楽しみや家族団らんの場でもあるので、無理なく続けられるプランを立てるのが大切。そのためにも、患者さまが話しやすい和やかな雰囲気づくりを心がけています。(栄養科 主任 伴 由紀子)

職場自慢

仕事では年次を超えて一致団結
後輩から先輩に「栄養指導」も！？



「スタッフの風通しの良さ」が自慢です。誰かが困っていると他のスタッフがさっと手を差し伸べたり、患者さまの栄養指導方針について年次を超えて議論したり。休憩時間に先輩が後輩から「お菓子食べ過ぎです！」と厳しい「栄養指導」を受けることも…(笑)。



Quiz

日々の食生活で
不足しがちな栄養素はどれ？

- ① 炭水化物
- ② 脂質
- ③ たんぱく質
- ④ ビタミン
- ⑤ カルシウム

クイズの回答は6ページをご覧ください→

「市民公開講座」で楽しく学ぶ

2019年秋から冬にかけて当院の講堂や視聴覚室で「市民公開講座」を開催しました。市民公開講座は、患者さまや地域の皆さまに自由にご参加いただき、健康づくりに役立ててもらうための無料の講演会です。講師を務めるのは当院のスタッフ。病気の基礎知識を分かりやすく解説することはもちろん、予防に役立つ体操を実演したり、検査機器を展示したりと、“体験”してもらう工夫を取り入れています。

2020年度も様々な市民公開講座を開催する予定です。開催情報はホームページ(トップページ>新着情報>イベント)に掲載します。お気軽にご参加ください。

2019年に実施した主な市民公開講座

7月9日	人間ドック入門 知って得する健診の選び方 (健診センター)	11月9日	肩と膝の痛みについて (整形外科、共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社)
9月6日	こつこつ取り組もう！骨の健康(整形外科)	11月13日	リンパ浮腫ってどんな病気？ 心がけておきたいイロハ(産婦人科、乳腺内分泌外科)
10月1日	更年期のころえ 上手に付き合うために (産婦人科)	11月19日	増えてます！大腸がん 自分で予防できること (消化器外科)
11月2日	知っておこう！お口の健康は全身の健康につながる (歯科口腔外科、主催：トヨタ生活協同組合)	12月7日	心肺蘇生法とAED操作方法(救急科) ()内は講演した診療科

産後のお母さんをサポートする
「トヨキネ おかあさん おたすけ隊」

当院では、産後間もないお母さんが赤ちゃんと一緒に宿泊し、助産師や看護師による授乳指導や育児支援を受けられる「産後ケア」を行っています。具体的には、授乳や沐浴、排泄やスキンケアをはじめとする赤ちゃんのお世話の仕方の相談に乗ったり、お母さんの乳房ケアや健康管理のアドバイスを行ったりします。宿泊と通所のどちらも可能で、豊田市在住の方は所得に応じて市から費用の補助を受けられます。

家族や周囲から十分なサポートが得られず、一人で育児や心配事を抱え込んでいるお母さんは少なくありません。そんなときは、ぜひ当院産後ケア「トヨキネ おかあさん おたすけ隊」をご利用ください。

ご不明点は、0565-24-7045(東病棟4階)までお問い合わせください。

乳房ケアや
授乳の相談

赤ちゃんの
お世話の
仕方の相談

沐浴や
スキンケアの
相談

お母さんの
休養



当院の市民公開講座で開催したリンパ浮腫に関する市民公開講座の様子(上)。大腸がんに関する講座では、検査に使うカプセル内視鏡の展示も(下)。



詳しくはホームページをご覧ください！



Guide 医療の心得 もしもの備え

第4回

冬を健康に乗り切ろう

医療や健康に関する疑問や不安にお応えするコーナー。第4回は、「冬」に注意すべき病気や健康管理のポイントを紹介します。

寒い日が続いています。気温が低く体調を崩しやすい冬は、インフルエンザや感染性胃腸炎が流行しやすく不安ですね。こうした病気を防ぐために、どのようなことに注意すればよいのでしょうか。救急科の武市医師がアドバイスします。病気にかかる原因と予防法を知って、寒い冬を元気に乗り切りましょう。

お答えします！



救急科
科部長
武市 康志

Q1 インフルエンザの季節、マスクをつけた方がいい？

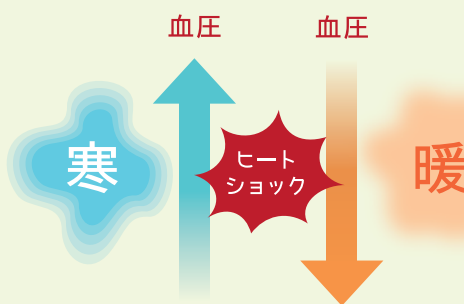
インフルエンザの予防には、①流行前のワクチン接種 ②外出後の手洗い・うがい ③適切な湿度を保つ ④十分な休養とバランスの取れた食事 ⑤流行期に人ごみを避けることが重要です。特に高齢者や妊婦、持病のある方、睡眠不足の方は、予防策として外出時に不織布製のマスクをつけることをお勧めします。

マスクの着用時は、鼻から口、顎まですっぽり覆いましょう。着用中はマスクに触れたり、鼻を出して顎にかけたりせず、使用後はゴムひもを持って取り外します。少なくとも1日1回は新しいマスクに取り換えてください。



Q3 感染症以外で気を付けるべき病気は？

冬の救急搬送では、「入浴中に失神した」という方が少なくありません。この「ヒートショック」は、寒い脱衣室で服を脱いですぐに熱いお湯に浸かるといった、急な温度変化に伴う血圧の変動が原因です。高齢者や、心臓の病気や生活習慣病のある方は特に注意し、脱衣室や浴室を暖房や湯船の蒸気で温めてから入浴しましょう。また、飲酒後の入浴は特に血圧が急降下しやすいので控えてください。



Quiz 「日々の食生活で不足しがちな栄養素はどれ？」の答え

答え：⑤ 厚生労働省の栄養調査によると、日本人はどの年代もカルシウムの摂取量が推奨量に達していないことが明らかとなっています。毎日の食事で、あと200mgのカルシウムを摂るよう心掛けましょう。牛乳1本、豆腐なら半丁が目安です。

松崎耳鼻咽喉科

親子で診察にあたり、3世代にわたって通い続ける患者さまも

7年前に松崎圭治先生がお父さまから院長を引き継がれ、お父さまと2診体制で患者さまを診ている「松崎耳鼻咽喉科」。今年47年目を迎え、3世代にわたって通い続ける患者さまも少なくありません。

「耳鼻咽喉科の領域は広く、鼻や耳の奥といった見えない部分に異常がありレントゲンだけでは診断がつけにくい症例、扁桃腺炎やアデノイド肥大、副鼻腔炎など手術が必要と思われる症例など、トヨタ記念病院さんには時間外

に緊急対応していただくことも多く感謝しています」と松崎先生は語ります。

耳鼻咽喉科では、めまいをきっかけに脳梗塞が見つかったり、副鼻腔炎の原因が歯の炎症だったりと、様々な病気が隠れていることもあるので慎重に診察にあたります。

「耳・鼻・喉の病気は身近なものが多いだけに、なかなか治らないとか、突然鼻血が出たりして不安になる方も多いので、いつも患者さまに寄り添える診察に努めています」。



院長
松崎 圭治先生



赤ちゃんから高齢の方まで、あらゆる世代の患者さまが来院されます。最近インターネットによる順番予約の受付も始めました(再診のみ)。



【診療科目】耳鼻咽喉科 【診療時間】8:30~12:00 15:30~19:00
【休診日】水・土曜午後、日曜、祝日



【住所】豊田市山之手2丁目91
【電話番号】0565-28-7250

みつわ会

ボランティア功労者 厚生労働大臣表彰 受賞

11月22日にメルパルクホール(東京都)で開催された「令和元年度全国社会福祉大会」において、みつわ会が厚生労働大臣表彰を受けました。本表彰は、多年にわたりボランティア活動を率先して行っている個人及び団体であって、その功績が特に顕著であると認められるものに対して贈られます。みつわ会は、平成3年から多岐にわたる病院ボランティア活動に取り組んでいます。今後も病院へお越しになる皆さんの一助となれるよう、会員一同笑顔で活動していきたいと思ひます。



ボランティア「みつわ会」会員を募集しています。

【お問い合わせ】TEL 0565-24-7169 FAX 0565-24-7178(担当:吉田)

患者さまの
権利

- ① 最善の医療を受ける権利があります。
- ② 治療方法など自ら選択する権利があります。
- ③ プライバシーが保護される権利があります。
- ④ 診療情報の開示を求める権利があります。

患者さまへの
お願い

- ① 医療安全の確保についてご協力ください。
- ② 病院内のルール、治療上の注意事項をお守りください。
- ③ お気づきの点、改善すべき点などについてご意見をお寄せください。
- ④ 教育や臨床研究にご理解をお願いします。

トヨタ記念病院 *Smile & Heart* 2020年冬号

発行日:2020年1月1日 発行:トヨタ記念病院 編集:人づくり・カイゼン推進本部

〒471-8513 愛知県豊田市平和町1-1 TEL 0565-28-0100(代) <http://www.toyota-mh.jp/>

【予約センター】☎0120-489-587

【予約受付時間】当日受診予約 8:00~11:30 翌日以降予約(1カ月以内)は11:00~16:00 ※診察券をお持ちの方はお手元にご準備の上で電話をおかけください。

【健診センター】TEL 0565-24-7153



トヨタ記念病院の
ホームページはこちら